

5・6年生複式学級 台本

『スーワールド』

2019年10月28日

～だれもが大切にされる世界を目指して～

なまえ ()

《場面1》草食動物・肉食動物たちがくらす世界

配役	セリフ・動き	準備物
	※ぜんいん下手から出てきて、いちれつにならぶ。	
()	これは、肉食動物と草食動物たちが、ともにくらす世界をぶたいにしたお話です。	背景①を映す。
()	肉食動物には、ライオン、トラ、チーター、オオカミなどがいます。	動物のイラストを流す。
()	草食動物には、ゾウ、ウシ、ウマ、ヒツジ、ウサギなどがいます。	
()	みなさん、肉食動物にはどんなイメージがありますか？	
()	わたしは、つよそう、こわそうというイメージがあります。	
<u>()</u>	草食動物には、どんなイメージがありますか？	
()	わたしは、おとなしそう、やさしそうというイメージがあります。	
()	肉食動物と草食動物は、どちらの数が多いと思いますか？	
()	肉食動物より、草食動物のほうが、はるかに数が多いです。	
<u>()</u>	なんと、95パーセントが草食動物です。	
()	肉食動物と草食動物には、ほかにどんなちがいがあるでしょう？	
()	草食動物は、草や木などの植物を食べて生活します。	
()	草食動物は、ちょうが長く、自分たちで植物のえいようをえることができます。	

()	肉食動物は、ちょうがみじかく、自分たちで植物のえいようをえることができません。	
()	だから、肉食動物のほとんどは、草食動物の腸を食べて、植物のえいようをかくほしています。	
()	そんな、からだのつくりや、見た目もちがう、肉食動物と草食動物たちが、ともにくらす世界をぶたいにして、	
()	自分たちが気づいたことや学んだことを、玉滝小学校のみんなにも知ってもらいたいと思って、それを劇にしてみました。	
()	楽しい場面もありますが、真剣に伝　いことを劇の中に入れて いますので、そこもしっかりと見てください。	スライド で、背景 にタイト ル表示。
()	それでは『ズーワールド』のはじまりです。 ※オオカミ上手、他は下手にはける。	

《場面2》差別につながる見方や考え方

配役	セリフ・動き	準備物
オオカミ1 () オオカミ2 () オオカミ3 () オオカミ4 ()	ウサギ1 () ウサギ2 () ウサギ3 () ウシ1 () ウシ2 () ウシ3 () ウシ4 () ウマ1 () ウマ2 () ウマ3 ()	背景② 山と川の風景
オオカミ1 ()	はいはい、あっしらはオオカミでござんすよ。	BGM① 草原・鳥
ウサギ、ウシ、ウマぜんいん	うわあ！（オオカミを見てにげようとする）	
オオカミ2 ()	なんでにげるんだよ。	
ウサギ1 ()	ちかづかないで！わたしたちをたべるつもりでしょ。	
オオカミ3 ()	いやいや、なにもしないよ。	
オオカミ4 ()	さいきんは、あっしらはだいずとキャベツとパンケーキしかたべてないよ。	
オオカミぜんいん	パンケーキたべたい！パンケーキたべたい！パンケーキたべたい！	BGM② パンケーキ

オオカミ1 ()	だから、あっしらのことをこわがらないでよ。	
ウマ1 ()	じゃあ、みんなのぶん、パンケーキかいにいつてきてよ。	
オオカミ4 ()	あっしは、ぜったいにいかないから！	
オオカミ2 ()	いかないの？じゃあ、あっしがいくよ！	
オオカミ3 ()	いやここは、あっしがいくよ！	
オオカミ1 ()	いやいや、あっしがいくよ！	
オオカミ4 ()	、、、じゃあ、あっしがいくよ。	
オオカミ2, 3, 4	どうぞどうぞ！	
ウマ2 ()	だちょうクラブかい！	
ウサギ2 ()	それに、オオカミのそのかおとってもこわいよ。	
ウサギ3 ()	いまにもたべられそうな、おおきなくちとするどいきばが・・・	
オオカミ2 ()	ああ、このかおか。このかおはうまれつき。	
オオカミ3 ()	だから、それをいわれるとなにもいえないよ。	
オオカミ4 ()	かおじゃなくて、あっしらの をみてよ。	
ウサギ1 ()	でも、「3びきの子ぶた」では、オオカミってわるものじゃない。	背景に、 3びきの子 ぶたの画像
オオカミ4 ()	あれは、つくりばなしで、じじつじゃないんだよ。	
ウシ1 ()	でも、みんながオオカミはこわいしわるものって、いつてるよ。	
ウシ2 ()	ああ、こわい、こわい。	
ウシ3 ()	やっぱり、オオカミのいうことは、しんようできない。	
オオカミ2 ()	あっしらは、きみたちとなかよくくらしただけなんだ。	
ウサギ1 ()	ほんとうかなあ。	

背景に、
だちょうク
ラブの画像
BGM③
つつこむ音

ウサギ2 ()	しんじられないよ。	
オオカミ3 ()	もっと、あっしらのことをしてほしいな。	
ウサギ3 ()	オオカミは、わるさしかしないって、してるよ。	
ウシ1 ()	ほら、なかよくできるわけないよ。	
ウシ4 ()	もう、いこう。 ※ウサギ・ウシは下手へ	
ウマ1 ()	ウサギやウシたちのいうことは、ほんとうなのかな。	
ウマ2 ()	オオカミがわるさをしているところを、じっさいにみたわけじゃないしなあ。	
ウマ3 ()	まあ、じぶんたちにはかんけいないから、いいか。 ※ウマは下手へ	
	※オオカミたちは座る。	
オオカミ1 ()	は～、やっぱり草食動物となかよくくらすのはむりなのかな。	
オオカミ4 ()	じぶんの気もちをつたえるのが、こわいよ、、、。	
オオカミ2 ()	おたがいに、気もちをつたえないでくらせばいいんじゃない。	
オオカミ3 ()	でも、それじゃ、あんしんしてくらせないよ。	
オオカミ4 ()	そうだね。あっしらが、あきらめちゃだめだ。4ひきでちからをあわせて、がんばろう。 ※オオカミ上手へ入る。	

《場面3》 困った時に助け合える関係に

配役	セリフ・動き	
オオカミ1 ()	ウサギ1 () ウサギ2 () ウサギ3 ()	背景③ 森と川の風景
オオカミ2 ()	ウシ1 () ウシ2 () ウシ3 ()	
オオカミ3 ()	ウシ4 ()	
オオカミ4 ()	ウマ1 () ウマ2 () ウマ3 ()	
	※ウサギたちが下手から出てきて、なかよくあそんでいる。 ウサギたちは、観客側により川のちかくに立つ。	BGM④ マリオ地上音

ウサギ3 () ウサギ1 ()	見て、あそこに魚がいる。 おすなよ、ぜったいにおすなよ。 (ウサギ1は、足をすべらせ川におちる。) ジャボーンという音がして、ウサギ1が川におちてしまう。	BGM⑤ マリオ死亡音
ウサギ1 () ウサギ2, 3 ウサギ2 ()	(苦しそうに) たすけてー。アップ、アップ。だれかおしただろー ういてまで！ (あわてて) だいじょうぶ！？だれもおしてないよ！ ※ウサギたち、ウサギ1をたすけようとして、みんな川におちてしまう。	BGM⑥ 川へ落ちる音 BGM⑦ 川へ落ちる音2
ウサギぜんいん ウシ2 ()	うわあ、たすけてー。アップアップ。 ※ウシ1・2・3がゆっくりはしってでてくる。 たいへんだ。ウサギたちが、かわにおちてしまった。	
ウシ1 () ウシ3 ()	これは、オオカミのしわざだ。あいつら、またわるさをしやがって。 たすけをよんでこなくちゃ。みんなはやくきてくれー。 ※ウシ1・2・3は、さけびながらいそいで上手へ。	
オオカミ1 () オオカミ2 () オオカミ3 () オオカミ4 ()	※いれちがいに、オオカミが下手から出る。 あっしらは、なにもしていないのに。 でも、だれかがこまっているのを、みてみぬふりはできない。 たすけないと！（ロープをなげて、みんなでひっぱりあげる） あっしらは、ちからはかなりあるからね。	BGM⑧ キノコを取る音
オオカミぜんいん オオカミぜんいん	よいしょ。よいしょ。うう、おもたい。 あきらめないぞ。よいしょ。よいしょ。 ※ウサギたち、川から上がってきて、たすかったというように手を取りあってよろこぶ。 ※オオカミたちは、よしよしとうなずきながら、草むらに入る。	BGM⑨ マリオ無敵音 BGM⑩ 川から上がる音

ウサギ1 ()	いったい、だれがたすけてくれたんだ。	
ウサギ2 ()	あれは、、、まさかオオカミ？	
ウサギ3 ()	たすかってよかった！	
ウサギ2 ()	オオカミたちのおかげだね。	
	※ウサギたちは、よろこびあいながら下手に入る。	BGM⑪ マリオ 1UP 音
	※ウシ1・2・3、ウマ1・2・3がいそいで上手から出てくる。	
ウシ1 ()	(川をのぞいて) あー、おそかったか。	
ウシ2 ()	ウサギがいない。ウサギがいない。	
ウシ3 ()	みんなおぼれてしまった。あーあ。(すわりこむ)	BGM⑫ ガーン
ウマ1 ()	きみたちが、はしるのがおそいせいだ。	
ウシ1 ()	しょうがないだろ。ウマみたいにはやくはしれないよ。	
ウマ2 ()	いいわけしないでよ。	
ウシ2 ()	(下手を見ながら) あっちにいるのは、ウサギじゃないか。	
ウマ3 ()	ぶじみたいだ。よかった。	
ウシ4 ()	よかった。よかった。	BGM⑬ マリオ 1UP 音
ウシ3 ()	はしったから、のどがかわいたな。	
ウマ1 ()	タピオカミルクティーでものみにこう。 ※ウシとウマ下手へ	背景に、 タピオカミルクティ とその店
オオカミ1 ()	※オオカミたちは、草むらからでて。 たすけたのは、あっしらなのに。	
オオカミ2 ()	(上手を見て) おや？ウシとウマがけんかしてないか？	

オオカミ3 ()	ほんとうだ。どうしよう。	
オオカミ4 ()	ようすを見てみよう。 ※オオカミたちは、草むらに入る。	BGM⑭ ドラクエ階段音

《場面4》ちがいをみとめ合えない草食動物たち

配役	セリフ・動き	準備物
オオカミ1 ()	ウサギ1 () ウサギ2 () ウサギ3 ()	背景② 山と川の風景
オオカミ2 ()	ウシ1 () ウシ2 () ウシ3 ()	
オオカミ3 ()	ウシ4 ()	
オオカミ4 ()	ウマ1 () ウマ2 () ウマ3 ()	
	※ウシとウマたちが上手から出てきて、いいあらそって、もめている。	BGM⑮ DQ 戦闘音
	※ウサギたちが下手から出る。 <u>音楽が止まったら、けんかもやめて、セリフを聞く。</u>	
ウサギ1 ()	いったい、なにがあったんだい？	背景に、 タピオカミルクティ とチョコレート ートプラネット。
ウシ1 ()	タピオカミルクティをかいにいったんだけど。	
ウマ2 ()	タピオカミルクティ	
ウサギ、ウシ、ウマぜんいん	ティー？ ティ、ティティー、ティティティティー	
ウシ1 ()	もう、いまはティーをさがしてるばあいじゃないでしょ！	
ウシ2 ()	ぎりぎりのところで、うりきれてしまったんだ。	BGM⑯ DQ 冒険の 書が消える
ウシ3 ()	そしたら、ウマたちが、あしがおそいウシたちのせいだってせめてきたから。	
ウマ2 ()	だって、ウシたちはあるくのがおそいから。	
ウマ1 ()	あしのおそいウシたちとは、かかわらないほうがいいんだよ。	
ウシ1 ()	わたしたちは、ウマとちがって、えいようまんてんのミルクがだせるんだからね。	
ウシ3 ()	あしがはやいだけで、やくにたたないウマとは、もうかかわら	

	ないほうがいいな。	
ウシ4 ()	うん。そうだね。	
ウマ1 ()	いやいや、ウマは馬車で人をのせたり、にもつをはこんだり、やくにたつからね。	
ウシ1 ()	ちょっとなに言ってるか分からないです。	
ウサギ2 ()	ウシもウマも、やめなよ！	
ウマ3 ()	うるさいな。かわいいだけがとりえのウサギはあっちへ行って。	
ウサギ2 ()	ひどい！わたしたちは、みみがながくておおきいから、すごくみみがいいんだよ。	
ウサギ3 ()	ウシもウマも、もうかってにすればいいわ。 ※ウシとウマたちは、さらにもめる。 ※ウサギたちは、すこしはなれて、しらないふりをする。	BGM⑰ DQ 戦闘音

《場面5》それぞれが自分をふり返って

配役	セリフ・動き	準備物
オオカミ1 () オオカミ2 () オオカミ3 () オオカミ4 ()	ウサギ1 () ウサギ2 () ウサギ3 () ウシ1 () ウシ2 () ウシ3 () ウシ4 () ウマ1 () ウマ2 () ウマ3 () ※ウシとウマたちがもめているところへ、草むらからオオカミたちが出てくる。 <u>音楽が止まったら、けんかもやめて、セリフを聞く。</u>	背景② 山と川の風景 BGM⑰ DQ 戦闘音
オオカミ1 ()	みんな、なにやっているんだよ！	
オオカミ2 ()	あいての一面だけを見て、こうだときめつけるのはおかしいよ。	
オオカミ3 ()	ウシもウマもウサギも、ぼくたちも、おたがいのちがいをみとめあおうよ。	
ウシ2 ()	でもオオカミたちが、ウサギたちをかわにつきおとしたんだろ。	

ウサギ1 ()	いや、じつは、あそんでいたら、わたしが川におちたんだ。	
ウサギ2 ()	たすけようとしたら、みんな川におちてしまったんだ。	
ウサギ3 ()	そのとき、オオカミたちが、みんなでたすけてくれたんだ、...	
ウシ、ウマぜんいん	ええ！？	
ウサギぜんいん	オオカミのみんな、ありがとう。	
ウシ1 ()	オオカミっていうだけで、わるいことをするってきめつけてた。	
ウシ3 ()	じじつかどうかを、ちゃんとたしかめてなかった。	
ウマ1 ()	わたしは、おかしいなって思ったけど言わなかった。	
ウマ2 ()	じぶんにはかんけいないって、たにんごとにしてた。	
ウマ3 ()	まずは、じぶんをふりかえらないといけないね。	
ウシ4 ()	そして、じぶんから、かわらないといけない。	
オオカミ4 ()	みんなちがって、みんないいんだ。	
ウサギ、ウシ、ウマぜんいん	オオカミのみんな、ごめんなさい。	
オオカミ1 ()	あっしらも、じぶんの気もちを、 のなかにおしこめたほうがらくだとおもってたんだ。	
オオカミ2 ()	でも、それじゃ、おたがいにあんしんしてくらせないし、なにもかわらないときづいたんだ。	
オオカミ3 ()	だから、おたがいの気もちを伝えあって、おたがいのことをもつとしりあおう。	
オオカミ4 ()	これからも、ちがいをたいせつに、ともにくらしていこう。 ※ぜんいん、うんうんとうなずく。 ※最初のように一列に並ぶ。	BGM⑱ DQ 宿屋

《場面6》自分たちが伝 いこと～まずは自分から～

配役	セリフ・動き	準備物
()	わたしたちは、本音ではなせるなかまになるために、自分ができることを考え話し合ってきました。	
()	わたしたちは、このげきのウマのように、自分には関係ないと、たにんごとにしてしまうことがありました。	
()	だから、安心して、自分の気持ちはいえないことがありました。でも、中出さんや、はましまさんの話をきいて、	
()	相手のなやみや不安なことなどを一緒になって考えることが、本音ではなせるなかまであり、	
()	さべつをなくすなかまにつながることに、気づきました。	
()	こまったとき、そうだんできるなかまでたいです。	
()	また、自分の思いこみやきめつけた見方が、相手をきずつけたり、	
()	差別につながってしまったりすることに気がつきました。	
()	わたしたちも、人からきいただけで、この人はこうだときめつけていないか、	
()	まずは、自分をふりかえって、事実かどうかをしっかり確かめていきます。	
()	そして、じぶんだけでなく、だれかがおかしいことをしていたら、	
()	見て見ぬふりをせずに、「それは、まちがっているよ。」と、	
()	おかしいことはおかしいと、相手に伝わるように声をかけていきます。	
()	これで、5・6年生の発表をおわります。	
()	※二歩下がる。(どんちょうよりも、手前まで移動。) ありがとうございます。	
ぜんいん	ありがとうございます。(ぜんいんでれいをする。)	

